

日南町こども園在り方検討会について
(答申)

令和7年 1月

日南町こども園在り方検討会

令和6年7月2日

「日南町こども園在り方検討会」委員長 様

日南町長 中 村 英 明

諮 問

令和4年4月、幼児教育の充実を目指し、保育園から幼保連携型認定こども園へ移行し、認定こども園にちなん十色が開園しました。にちなん十色では、幼児教育の充実として、先進園の取り組みに学び、見守る保育、異年齢保育を実践することで、主体的・対話的で深い学びの基礎となる力を養い、一人ひとりのよりよい成長を保障することを目指しています。

一方、令和6年6月末現在分園の園児数は石見分園7名、山の上分園9名であり、今後さらなる減少が予想されます。日南町の幼児期教育の充実のために、こども園の在り方について検討する時期にきていると考えます。

つきましては「日南町こども園在り方検討会」においてご協議いただき、本年12月中に答申していただきますよう諮問します。

記

1. ねらい

「町立認定こども園の統合についての方針と今後の教育環境の充実」

2. 協議内容

- ① こども園の統合についての方針
- ② 保育、幼児教育の充実のための取り組み
- ③ 子育て支援、子育て環境の整備

「日南町こども園在り方検討会」開催経過等について

- ・ 第1回検討会 令和6年 7月2日（火） 18：30～
【協議内容】
 - ・ 日南町こども園の現状と課題について
 - ・ 諮問内容について

- ・ 第2回検討会 令和6年 9月17日（火） 18：30～
【協議内容】
 - ・ こども園の統合について
 - ・ 日南町の保育、幼児教育の充実のための取り組みについて
 - ・ 日南町の子育て支援、子育て環境のよりよい整備について

- ・ 第3回検討会 令和6年 11月18日（月） 18：30～
【協議内容】
 - ・ 第1～2回の協議内容の再検討と共有について
 - ・ 答申について

日南町こども園在り方検討会

答申書

日南町こども園在り方検討会では、令和6年7月2日、日南町長から、町立認定こども園の統合についての方針と今後の教育環境の充実について、諮問を受けました。

日南町の保育施設は令和4年度4月、幼児教育の充実と保護者支援の充実を目指して、保育園から幼保連携型認定こども園に移行し、にちなん十色が開園しました。

しかし、令和6年度時点で各分園の園児数が10人を下回っており、今後さらなる減少が予測されます。こうした状況を受け、諮問はこれからの日南町の幼児教育の充実に向け、こども園の在り方を改めて検討することを求められたものです。

検討委員会は、新宿せいが子ども園副園長、日南小学校校長、3園保護者代表、各地域代表、元保育園園長の9名で構成され、

- ①こども園の統合についての方針
- ②保育、幼児教育の充実のための取り組み
- ③子育て支援、子育て環境の整備

について審議を重ねてきました。

本検討委員会で、審議した結果を次の通り答申します。

審議結果

①こども園の統合についての方針

日南町のこども園は本園1園、分園2園体制で、幼児教育の充実を図り、一人ひとりのよりよい成長を保障することを目指しています。

町内に3園があることで、保護者にとっては送迎の負担が少なく、各園や子どもたちは地域との密接なつながりを持つことができます。また、3園にはそれぞれ特色があり、保護者が園を選択することができるメリットがあります。

反面、分園の園児数が減少していることで、同年齢でのかかわりや集団での活動が難しい状況が生じています。こうした課題を解消するため年長児、年中児は年間を通じて交流保育を行っており、お互いに顔見知りになっているので、就学後の集団づくりにスムーズにつながっています。しかし、現在の交流保育は行事のために集まることが多く、子ども同士による相談や計画、感想の伝え合い、集団遊びなどの機会が少ないなど、コミュニケーション能力の発達や学びの発展にはつながりにくいという課題があります。

私たちは生まれながらにして、人とのかかわりの中で育っていく存在です。家庭も一つのかかわりの存在ですが、保育施設ならではのかわりがあります。日南町の園小中でめざしている非認知能力の育成において、「相手の気持ちを察する」「自分の気持ちを相手に伝える」「葛藤の中で折り合いをつけていく」など、子ども同士の交流の中でこそ、育まれる能力があります。こうした能力を育てるため、ある程度の子ども的人数が必要であり、家庭数も重要となってきます。

以上のことから、子ども同士の学びを考えた時、統合については、令和7年から3年間は園児数や家庭数の推移を見ていき、家庭数が1～2家庭になった時には、分園を休園とし、本園のみとする体制に移行してください。

統合後は、送迎が大きな課題となります。現在は、保護者による送迎となっていますが、小中学生と併せて、園児も乗ることができるスクールバスにするなど、保護者や園児の負担を軽減し、安心して園に通わせることができるような対応を求めます。

また、地域に分園がなくなると、地域との交流が難しくなります。そのため、統合後も意図的に地域との交流の場を設けていくことが必要です。また、将来引きこもりや不登校につながったりする子どものケアの場として、分園の施設を使うなど、多様性の時代に合わせ、必要な時に必要な場所として分園を利用していくことを提案します。

今後も子どもを中心に考え、子どもの学びと育ちを保障していくことができる環境の整備に努めてください。

②保育、幼児教育の充実のための取り組み

日南町では園小中一貫教育を実践し、教育内容の充実に向けて取り組んでいます。幼児期は遊びを通して、学習の基礎を培う時期であり、こども園では子どもたちが、遊びや生活の中で、自分で考えたり選択したり試したりする環境を用意しています。そのことで、遊びが広がったり、子ども同士のか

かわりが増えてきたりしています。

また STEAMS 教育の中で、「不思議だな」「何でだろう」という科学的な興味・関心が育ち、家でも「やってみよう」という姿が見られ、遊びの中で、体験と科学的な考え方が結び付いてきています。

また、小学校へのスムーズな接続に向けて、園小の職員でカリキュラムを作成しています。園での学びを小中へつなげていくために、さらなる連携や研修が必要となります。職員が同じ方向で保育、教育に携わっていくことが重要であり、そのことが保護者への安心感、信頼感につながります。保育教諭が研修するにあたり、負担にならないよう、研修時間や研修費などのサポートに努めてください。

子どもの自立をめざしていく中で、心が折れることなくいろいろなことに挑戦していく子どもや、困った時に「手伝って」と言える子どもを育てていくことが必要です。家庭とは違う場所で、子どもたちの様々な体験が成長につながっていきます。

園で取り組んでいることやそのねらいを今以上に、家庭や地域に発信していき、園・保護者・地域が一緒になって幼児教育について考えていき、町全体で子どもたちを育てていく環境づくりが重要だと考えます。

③子育て支援、子育て環境の整備

こども園では、保育料の無償化、園で使用するおむつの無償化、保育時間の延長、園庭開放など、子育て支援の充実に取り組んでいます。町内には、こども園以外にも事業所内保育所、子育て支援センターなどの子育て施設があり、ライフステージに応じた様々な助成制度があるなど、町全体で子育て支援に取り組んでいます。

一方で、核家族やIターンで、近くに祖父母など親族がいない家庭もあり、子どもや親自身が病気になった時などに、相談したり頼ったりすることができず、困っているという声が上がっています。

これから必要なのは、地域全体で子どもを育てることであり、そのための様々なサポート体制の整備、各関係機関の連携など支援のネットワークの整備を求めます。

また、日南町の子育て支援は手厚いですが、情報が知られていない現状があります。窓口を一本化し、ホームページを見ると必要な情報が一覧になっているなど、わかりやすい周知が重要です。具体的に、誰が、いつまでに、支援のネットワークを作成するのか、窓口の一本化をしていくのかというこ

とを明確にしてください。

施設面では、公園の設置についての検討を引き続きお願いします。いろいろな年齢の子どもたちが遊ぶことができる公園が整備されることで、年齢を超えて、子どもたちや保護者の交流が広がったり、町外の方が日南町に遊びに来たりすることが想定され、町の活性化にもつながっていきます。

こども園の園舎については、建ってからかなり年数が経っています。子どもたちの安全を確保するとともに、子どもたちがのびのびと活発に過ごすことができるよう、現場の実態をふまえ、よりよい施設の早期の整備を求めます。

また、障がいのある子どもたちを受け入れる放課後デイサービスなどの施設や体制も必要と考えます。家族が安心して、子どもを預けることができる場所があることで、保護者も子どもたちも生き生きと過ごすことができる町になります。

子どもの保育・教育をより充実させるために、必要な施設の整備を検討してください。

日南町こども園在り方検討会 委員名簿

1	新宿せいが子ども園副園長	中山 利彦	委員長
2	日南小学校長	三上 恵子	副委員長
3	元にちなん保育園園長	田邊 陽子	
4	にちなん十色保護者代表	宮口 紗奈	
5	山の上分園保護者代表	土山 愛	
6	石見分園保護者代表	小谷 美佳	
7	自治協議会会長	松田 正	
8	山上まちづくりの会会長	木村 正史	
9	石見まちづくり協議会会長	福岡 正純	